

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】令和4年8月12日(2022.8.12)

【国際公開番号】WO2021/124450  
 【出願番号】特願2021-565208(P2021-565208)

【国際特許分類】

H 0 3 F 3/45(2006.01)

H 0 3 G 3/30(2006.01)

【 F I 】

H 0 3 F 3/45 1 0 9

H 0 3 G 3/30 D

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月20日(2022.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0022】

pチャンネル電界効果トランジスタ205及び206は、ゲートの差動入力端子V<sub>ip</sub>及びV<sub>in</sub>において差動入力信号を受け、ドレインの出力端子V<sub>op</sub>及びV<sub>on</sub>において差動出力信号を生成する。オペアンプ422がpチャンネル電界効果トランジスタ433のゲートの制御信号を制御することにより、pチャンネル電界効果トランジスタ433のドレイン及びソース間の抵抗が制御され、差動増幅回路部401の直流の利得が一定に制御される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0049】

nチャンネル電界効果トランジスタ534及び535は、ゲートの差動入力端子V<sub>ip</sub>及びV<sub>in</sub>において差動入力信号を受け、ドレインの出力端子V<sub>op</sub>及びV<sub>on</sub>において差動出力信号を生成する。オペアンプ422がnチャンネル電界効果トランジスタ533のゲートの制御信号を制御することにより、nチャンネル電界効果トランジスタ533のドレイン及びソース間の抵抗が制御され、差動増幅回路部501の直流の利得が一定に制御される。

【手続補正3】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

BGRバイアス生成器405は、BGR電圧を生成し、生成したBGR電圧をバイアス電圧(第3のバイアス電圧)としてnチャンネル電界効果トランジスタ504のゲートに供給する。これによって、nチャンネル電界効果トランジスタ503のゲートにおいて、電流源回路用のバイアス電圧(第1のバイアス電圧)が生成され、生成されたバイアス電圧がnチャンネル電界効果トランジスタ511~514、531、532の各ゲートに供給され

50

る。

10

20

30

40

50